

から、防災行政用無線の施設整備、消防施設の充実、洪水・土砂災害・津波・高潮・原子力災害などのハザードマップの作成等も進めて参ります。また、引き続き、各種予防接種費用の全額補助などの、子育て支援対策、人口定住促進などの、子どもを育てやすい環境を整え、対処して参りたいと考えております。

当面、東通原子力発電所東京電力1号機の運転が開始されるまでの間、非常に厳しい行財政状況は続きますが、

村民生活向上のために、皆様のご理解を賜りながら、様々な課題に対処して参りたいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、重点施策推進にあたっての基本的な考え方を申し上げますが、これに基づいた、平成23年度の主要施策について、ご説明申し上げます。

まず、「力ある産業を培う」ための施策として、農林水産業部門では、計画作りを進めてきた、産地直接販売施設の建設事業、北地区製氷・貯氷施設整備の他、農道保全対策事業、森林整備のための支援、寒立馬の保護対策など、

水産業においては、効率的且つ安定的な漁業経営体の育成を目的とした、村独自の漁業共済掛金補助金、計画に沿った漁港整備の他、特に作り育てる漁業に対しては、鮭、さくらます、アワビのほか、ウナギ、まぞい、ヒラメなど各種魚、種苗の放流事業に対する支援、また、原子力発電所関連振興対策事業、津軽海峡地区漁業振興対策事業など、引き続き、第一次産業に対して必要な対策を講ずることとしております。

また、第一次産業は、村の主力産業であり、食の安全安心と農林水産物の販売を見据えた直売施設の建設と共に、販売のための各種アドバイザーとの協議も進め、農水産物のブランド化を推し進め、農林水産業の一層の振興を図ります。

次に、「良好な環境を育み、快適な生活を営む」ために、生活環境整備のため、引き続き、下水道整備を継続し、一方では、集落環境整備に関しては、生活関連道路の整備、森・川・海の環境整備に直接関連する、植樹祭やふれあいの森整備事業、村道などの維持交通安全施設工事などの他、平成22年度

まで進めてきた環境デザインの総合環境プランが委員会の答申もされ、策定したものであります。

また、これに基づき、地球温暖化防止行動計画の策定も行います。次に、「独自の文化を創り、内外の交流を拓く」ため、能舞を始めとする伝統文化の継承とともに、各種イベント、都市との交流事業など、観光に留まらず、他地域との人的交流が深められるよう、引き続き努力して参ることとしております。

また、「村の将来を担う次世代の人材育成」は、これまで申し上げた、各種基盤整備事業、各種振興対策事業を将来に亘って展開し、将来の東通村を支えていく乳幼児、児童生徒を中心に、子育て支援並びに人材育成を最優先の課題としてとらえております。乳児子育て支援助成事業、乳幼児を含むこども医療費給付事業、子ども手当給付事業等子育て支援策、妊婦健康診査の充実等「産み育てやすい環境づくり」を着実に推し進めて参ります。

東通小中学校による小中一貫教育の実践、学力向上に関しては、引き続き学習塾を運営し、外国人英語講師、村

独自の教師の配属の充実による少人数学級の編成、各種学力テストなどの実施など、教育プランに基づく施策を着実に実施して参ります。また、このプランにより、23年度は、保育所・幼稚園の一体施設、保育園の建設を進め、24年度開設に向かいます。引き続き、プランに基づく、きめ細やかな施策を実施して参ります。

以上のような基本的考え方により、平成23年度東通村一般会計当初予算は、121億5,500万円となります。

今後とも、村民各位のご協力を頂きながら、村政を運営して参りますので引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

